

山本 昇降機

取扱説明書

BE80-524D


BE80-578D

BE80-643D

BE80-697D

BE80-762D

安全上の大切なお知らせ

- この山本昇降機を取扱う場合には、正しい方法で正しく取扱うことが大切です。正しい取扱い方をしないと、予想しない事故を引き起こし、人身傷害や財産の損壊を起こす恐れがあります。
- 本機を改造しないでください。
- この「取扱説明書」では、予想できる限りの危険な状況をあらかじめ知っておいていただくために、警告の内容によって危険な状況を、そのアラートシンボルマーク（）とシグナルワード（危険、警告、注意）を付けて表示しています。



危険

この表示は、指示に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことに至る切迫した危険状況を示します。



警告

この表示は、指示に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性のある危険状況を示します。



注意

この表示は、指示に従わなかった場合、重傷または中程度の傷害を負う可能性のある危険状況を示します。

注意

この表示は、指示に従わなかった場合、物的損害の発生のみが予測されるような種類の危険状況を示します。

- 本機は、乾燥粉の昇降機として設計してあります。その他の用途では使用できません。

- 本機の手扱いは、定められた管理者が、必ず安全運転教育を受けておこなってください。

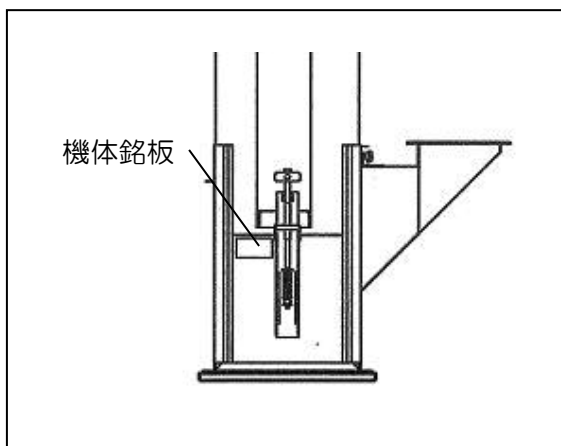
はじめに

お買上げありがとうございました。

- この「取扱説明書」は、山本昇降機BE80-524D、578D、643D、697D、762Dの安全に関する事項、運転手順および点検整備の手順を説明しています。
- この「取扱説明書」をよく読んで理解してから、本書の指示に従って山本昇降機の運転および点検整備をしてください。

- 初めて使う方は、まず全体をよく読んでください。使ったことのある方は、少しでも疑問が生じたら、もう一度読んで確かめてください。
- 本機を他の人に操作させる場合も、この「取扱説明書」を読んで理解するように十分指導してください。
- 操作するときの重要な取扱いについては、その内容を線で囲み「注記」の文字を付してあります。
- この「取扱説明書」は、説明袋に入れ、見やすい所に貼り付け、いつでも誰でも参照できるようにしておいてください。もし、本書を紛失した場合は、購入先へ依頼して取り寄せ、必ず備え付けておいてください。
- この「取扱説明書」に用いた写真や図は、本書を制作した時点のもので、山本昇降機は、製品改良により設計変更をすることがありますので、お客さまの本機の外観が本書の写真や図と部分的に異なることがあります。しかし、手順は同じですので、この「取扱説明書」の指示に従ってください。

- 製品の機体銘板は、図示の位置に貼り付けてあります。この製品についてお問合せのときは、機体銘板に記載されている「型式と製造番号」をお知らせください。
- お買上げの製品またはこの「取扱説明書」についてご質問などありましたら、お買上げの購入先にお問合せください。



- この製品を国外へ持ち出した場合に当該国での使用に対し、事故などによる補償などの問題が発生することがあっても、当社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

も く じ

(表紙裏) ▲	安全上の大切なお知らせ	ページ
	はじめに	I
第1章	安全	1
1. 1	安全に関する重要警告事項	1
1. 2	火災予防に関する重要警告事項	3
1. 3	「警告ラベル」の貼付け位置	4
第2章	製品の概要	7
2. 1	仕様	7
2.1.1	主要諸元	7
2.1.2	外形寸法図	8
2. 2	各部の名称	10
第3章	運転前の準備	11
3. 1	安全の確認	11
3. 2	電源の確認	12
3. 3	回転方向の確認	13
3. 4	張込制御板の位置確認	14
3. 5	パイプ固定ホース	14
3. 6	バケットベルト	14
第4章	運転操作	15
第5章	点検・調整・整備	17
5. 1	昇降機平ベルトの点検・調節	17
5. 2	残留掃除のしかた	19

第6章	組立て	21
6.1	安全	21
6.1.1	組立作業上の安全に関する重要警告事項	21
6.1.2	試運転時の取扱い上の安全に関する重要警告事項	23
6.1.3	火災予防に関する重要警告事項	23
6.2	組立て前の準備	24
6.2.1	据付場所の選定	24
6.2.2	組立作業で使用する工具の確認	25
6.2.3	梱包部品の確認	26
6.3	組立て	29
6.3.1	本体の組立て	29
6.3.2	本機の据付・固定	34

第 1 章


安 全

本機の手扱いは始める前には、必ず下記の重要警告事項を読んで、理解してください。

1.1 安全に関する重要警告事項

⚠ 危険

1. 安全上の基本的危険事項

- (1) 子供を本機のそばで遊ばせないでください。子供は本機のスイッチ類をいじる可能性があり、重大な人身事故を起こす恐れがあります。
- (2) 次の人は、運転操作をしないでください。
 - ① 飲酒し、酒気を帯びている人
 - ② 薬剤を服用し、作業に支障のある人
 - ③ 病気、負傷、過労等により、正常な作業が困難な人
 - ④ 年少者（18歳未満）
- (3) 作業をするときは、右図のような作業にあつたきちんとした服装でおこなってください。機械に巻き込まれたりする恐れがあります。点検・整備をするときは、上図のような服装にくわえて、必要に応じてヘルメット、防護めがね、手袋、マスクを着用してください。
- (4) 二人以上で作業をするときは、安全のために声を掛け合っておこなってください。一方の人が誤ってスイッチを押してしまうと、人身事故を起こす恐れがあります。

危険

2. 据付け時の危険事項

- (1) 据付場所は、運転操作・点検・調節・整備ができる明るい場所にしてください。
暗い場所で運転操作・点検・調節・整備をすると、重大な事故を起こす恐れがあります。
- (2) 据付場所は、下記の条件を満たす場所にしてください。軟弱な地面や水平でない場所に設置すると、運転中に傾いてしまう恐れがあります。
 - コンクリートなどの不燃材料で作られた水平な場所であること。
 - 本機の全質量（仕様の項に明記）に長期間、十分耐えられる場所であること。
- (3) 損傷または切断した電源コードは使用してはいけません。損傷または切断している電源コードに通電すると、人身事故あるいは火災の原因となる恐れがあります。

3. 操作上の危険事項

- (1) 本機を運転する人は、決められた人であって、この「取扱説明書」を十分に理解している人が、運転してください。
人身事故につながる恐れがあります。

4. 点検・調節・整備に関する危険事項

- (1) 本機の点検・調節・整備をおこなうときは、必ず電源スイッチを「切」にし、元電源側のコンセントからプラグを抜いてください。感電による死亡事故につながる恐れがあります。また、誰かが誤ってスイッチを押してしまう恐れがあり、大変危険です。

1.2 火災予防に関する重要警告事項

- 下記の項目は、火災を発生する原因となる恐れがあるので十分に守ってください。

危険

- 損傷または切断した電源コードは使用してはいけません。損傷または切断している電源コードに通電すると、人身事故あるいは火災の原因となる恐れがあります。

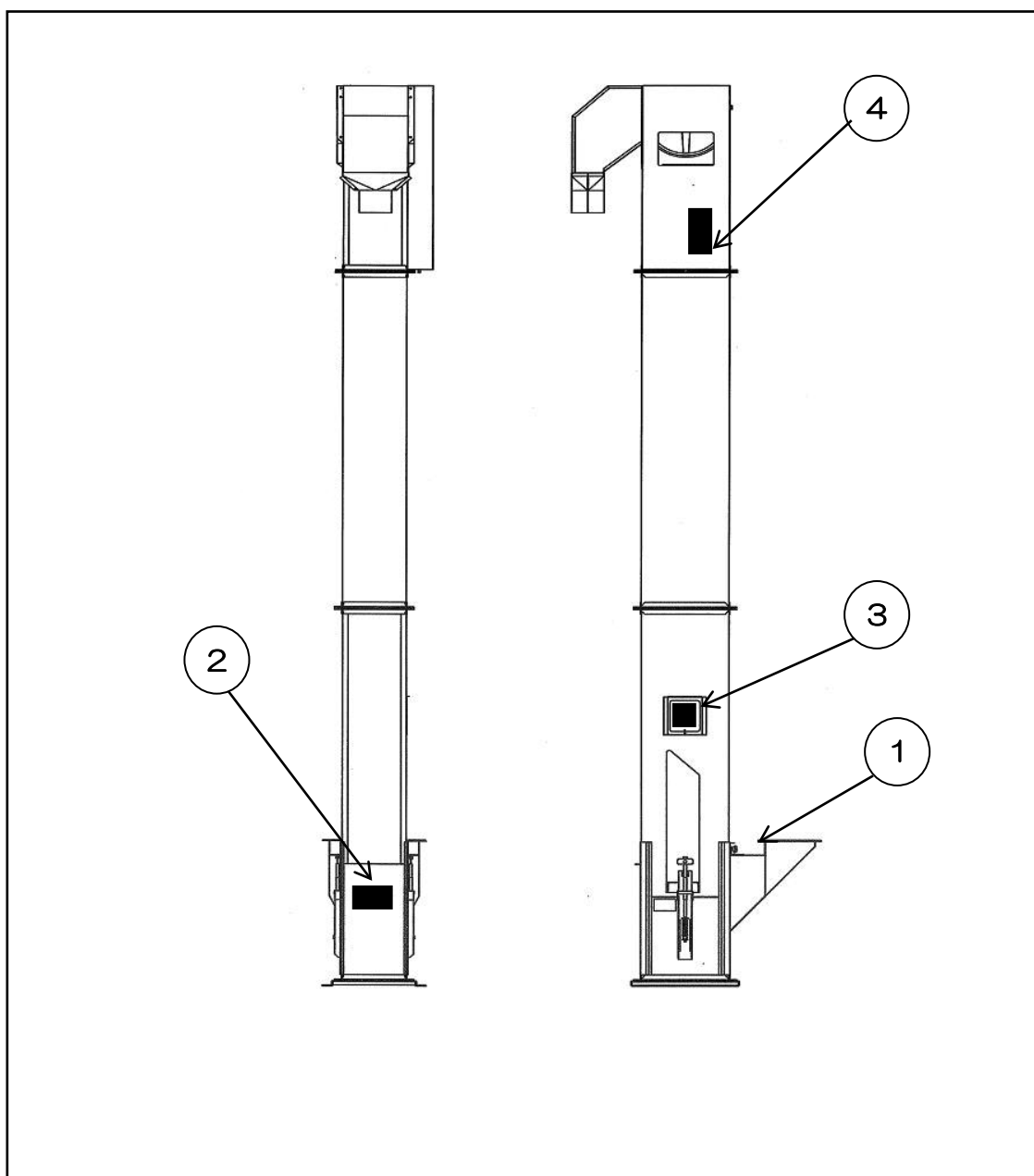
警告

1. 電源に関する火災予防事項


- (1) コード類は電気用品安全法の適合マーク(PSE)製品を使用してください。
- (2) 配線は、電気工事会社に相談の上、内線規定に従って実施してください。
- (3) 元電源は、漏電ブレーカの付いた専用電源からとってください。
- (4) 損傷したコード類は、使用しないでください。

1.3 「警告ラベル」の貼付け位置

- 「警告ラベル」は、図示の位置に貼り付けてあります。
- この「警告ラベル」には、「危険マーク」・「警告マーク」・「注意マーク」の3種類があります。これらの警告の内容は、この「取扱説明書」の最初の「**▲** 安全上の大切なお知らせ」のところで説明しましたことと同じです。必ずその指示に従ってください。
- これらの「警告ラベル」およびその他のラベルは、いつもきれいにして、人に見えるようにしておいてください。ラベルが紛失あるいは損傷した場合は、購入先から取り寄せ、所定の場所に貼り付けてください。





①シャッタ注意マークAH180

 注 意	運転中にホップ内のシャッタ口に手を入れると、回転物に接触し、ケガをすることがあります。シャッタ口に手を入れないでください。
--	---

298109-1800

②バケット注意マークBH130

 注 意	1. 運転中にカバーを開けると、回転物に接触し、ケガをすることがあります。カバーは開けないでください。 2. フタを開けて穀物のつまりを取り除くとき、バケットが逆回転し、ケガをすることがあります。穀物を取り除くときは、バケットが回転しないように固定してください。
	

298138-1300

③バケット注意マークAV60

 注 意

©
運転中にカバーを開けると、回転物に接触し、ケガをすることがあります。カバーは開けないでください。
297100-0600

④ベルト注意マークAV60

 注 意

©
運転中にカバーを開けると、回転物に接触し、ケガをすることがあります。カバーは開けないでください。 カバーを開けたら、元にもどしてください。
297101-0601

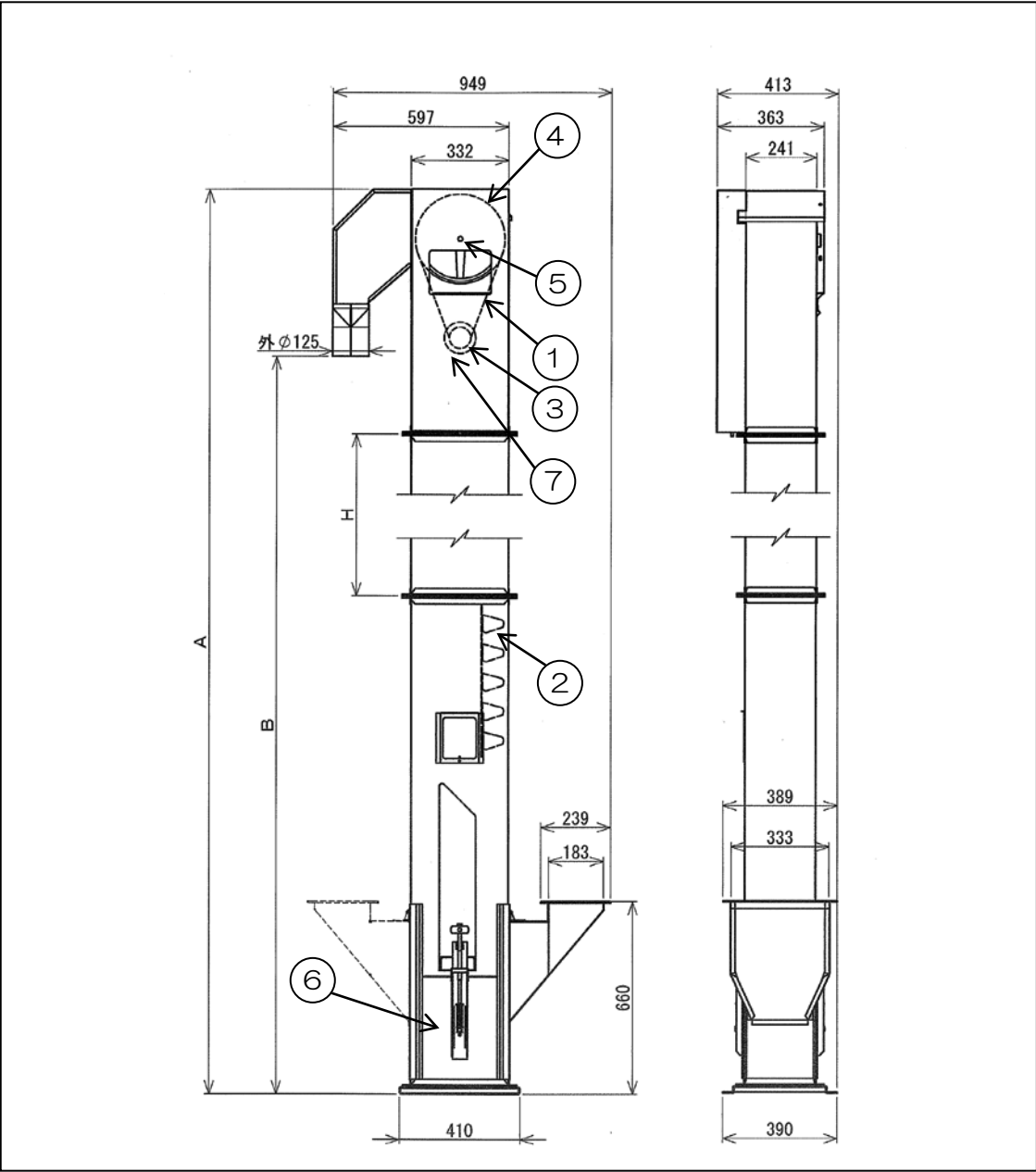
○ 第 2 章 ○ 製 品 の 概 要

2.1 仕様

2.1.1 主要諸元

項 目		単位	仕 様				
型 式		—	BE80-524D	BE80-578D	BE80-643D	BE80-697D	BE80-762D
機 体 寸 法	全 長	mm	950				
	全 幅	mm	415				
	全 高	mm	5240	5780	6430	6970	7620
	落ち口高さ	mm	4670	5210	5860	6400	7050
	張込口高さ	mm	660				
下箱設置の必要寸法		mm	410×390				
機 体 質 量		kg	110	115	120	125	130
所 要 動 力	定格電圧	V	三相 200V				
	定格出力	kW	0.3				
バケットの幅		mm	203 (8 インチ)				
張 込 能 力		kg/h	12000 (乾燥粉 630kg/m ³ 時)				
昇降機上軸回転数		rpm	225				
標準装備品			張込ホッパ・固定金具・昇降機力バー				

2.1.2 外形寸法図と伝動各部の規格



型 式	BE80-524D	BE80-578D	BE80-643D	BE80-697D	BE80-762D
A寸法	5240	5780	6430	6970	7620
B寸法	4670	5210	5860	6400	7050
H寸法	2740 L1189×1本 L1515×1本	3241 L537×1本 L1189×1本 L1515×1本	3893 L1189×2本 L1515×1本	4430 L537×1本 L1189×2本 L1515×1本	5082 L1189×3本 L1515×1本

ベルトの規格

番号	名称	規格	部品番号
①	Vベルト	LA-51 (オレンジラベル)	251313-051
②	バケットベルト	175 (幅) × 2.3 (厚)	183089-510200
	バケット	8 インチ (※)	121850-504500

※ バケットの必要数は型式毎に違いますので、33ページ「注記」を参照してください。

プーリの規格

番号	名称	規格	穴径	キー	段数
③	モータプーリ	A-φ72 (50Hz) A-φ60 (60Hz)	φ19	6×6×25 (片丸)	2
④	昇降機プーリ	A-φ305	φ17	5×5×36 (角)	1

ベアリングの規格

番号	使用箇所	ベアリング名称・規格	部品番号	個数
⑤	昇降機上軸	深ミソ玉軸受 6203UUJ	241140-006203	2
⑥	昇降機下軸	深ミソ玉軸受 6203ZZ	241160-006203	1

モータ出力

番号	名称	定格出力	部品番号	個数
⑦	モータ	三相 200V 6P 300W	121850-103000	1

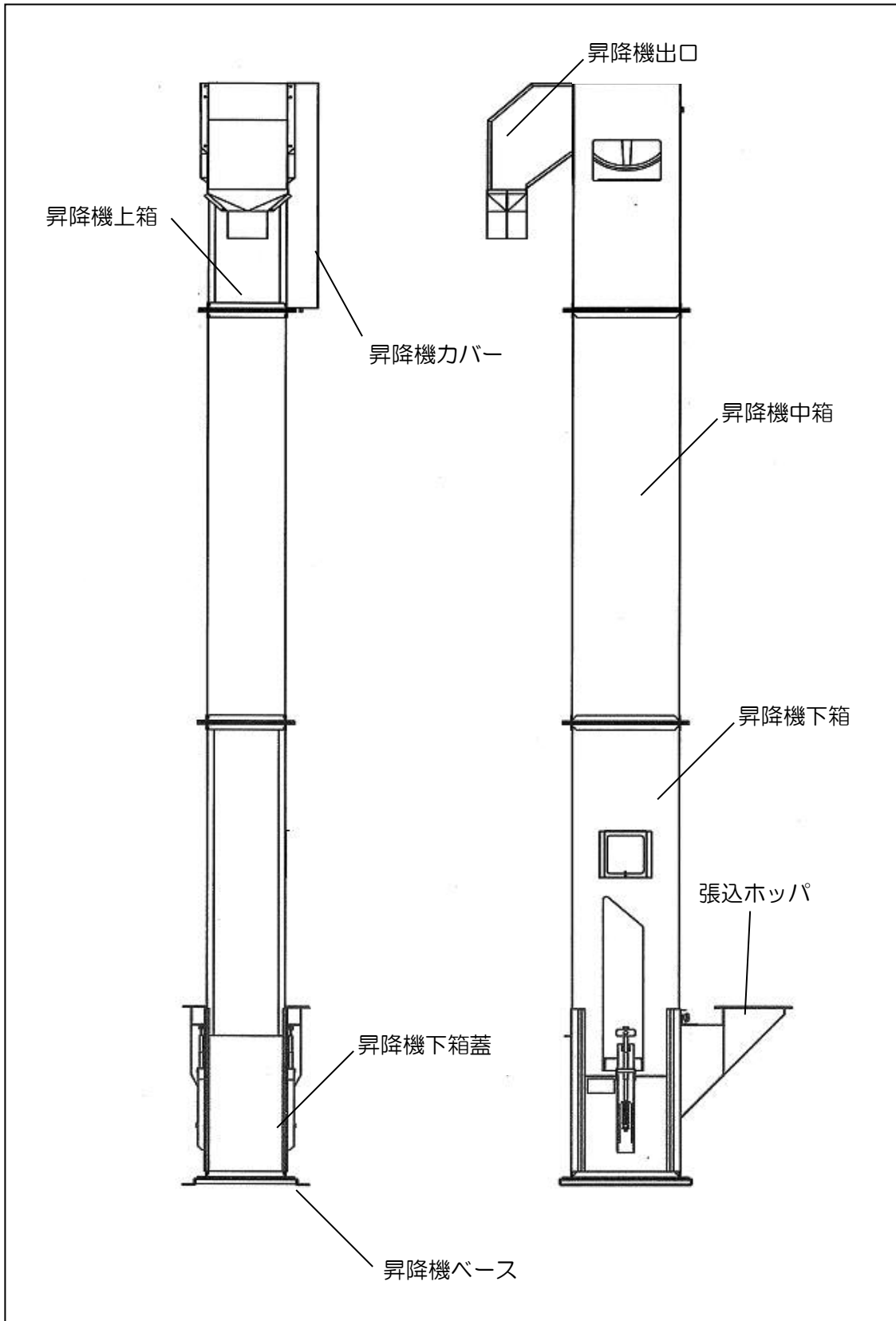
※ 排出パイプは、下記の部品をご購入ください。

番号	部品名	部品番号
a	排出パイプ	121508-540300
b	排出パイプ短	121850-920800
c	ループホース	121850-920900



㉔自在ホース (L700mm)
㉓直管 (L914mm)
㉒直管 (L300mm)

2.2 各部の名称



○ 第 3 章 ○

運 転 前 の 準 備

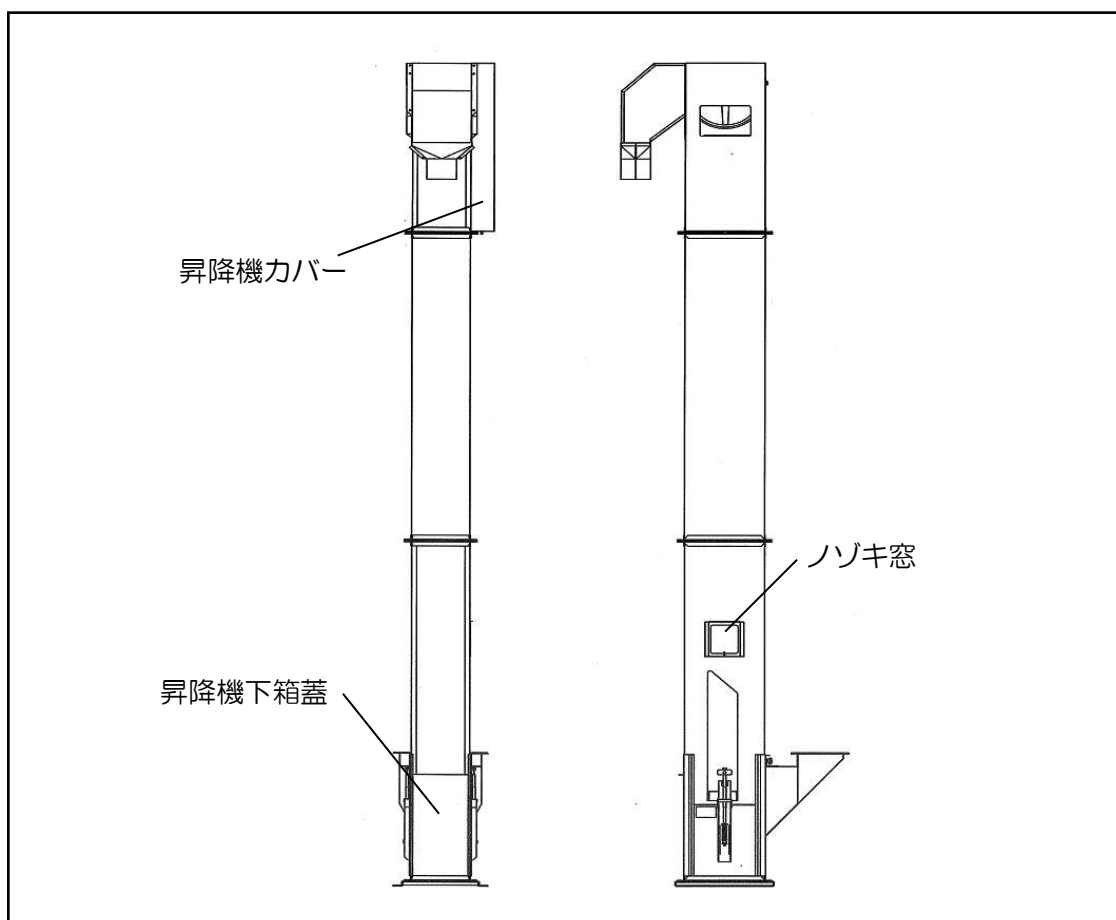
3.1 安全の確認

- (1) 運転に支障がないか、本機および周囲の安全をよく確かめ、子供を本機のそばで遊ばせないでください。

⚠ 危険

- 子供を本機のそばで遊ばせないでください。子供は本機のスイッチ類をいじる可能性があり、重大な人身事故につながる恐れがあります。

- (2) 本機各部の点検窓や掃除蓋が閉まっているか必ず確認してください。



3.2 電源の確認

- (1) 電源は、必ず漏電しゃ断機の付いた電源から取ってください。また、モータが損傷しないように 2.8~4.4A 設定等の保護装置を必ず取り付けてください。

モータの運転電流 3.1A

モータ保護装置の例

電磁開閉器	MSO-T10 (2.8~4.4A)	三菱電機
モータブレーカ	MB30-CS	三菱電機

警告

- 電源は、漏電ブレーカの付いた専用電源からとってください。感電による人身事故または災害の原因となる恐れがあります。

- (2) 電源コードは所要動力（負荷）に十分耐えられる容量で、かつ適正な長さであることを確認してください。

使用電源	電源・配線・ソケットプラグの定格	電源コード
三相200V	7A以上	1.25mm ² 以上で15m以内

警告

- コード類は、電気用品安全法の適合マーク（PSE）製品を使用してください。人身事故または火災の原因となる恐れがあります。

- (3) 作業時に電源コードが踏まれないような適当な措置がとってあることを確認してください。

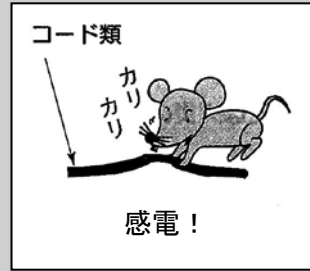
- (4) コード類に損傷がないことを確認してください。

警告

- 配線は、電気工事会社に相談の上、内線規定に従って実施してください。不適当な配線をおこなうと、人身事故または火災の原因となる恐れがあります。

⚠ 警告

- 損傷したコード類は、使用しないでください。そのまま使用すると、感電による人身事故または火災の原因となる恐れがあります。

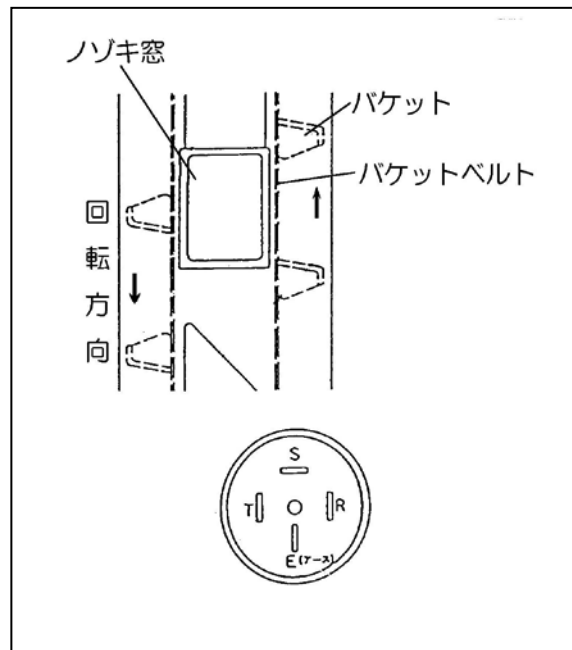


- (5) 電源を投入し、スイッチを入れて本機が始動するか、スイッチを切って停止するかを確認してください。

3.3 回転方向の確認

本機を始動させて、バケットベルトの回転方向を確認してください。

逆回転の場合は、必ず電源を切ってから電源コネクタのE（アース）を除くR、S、Tのうち2箇所を入れ換えてください。



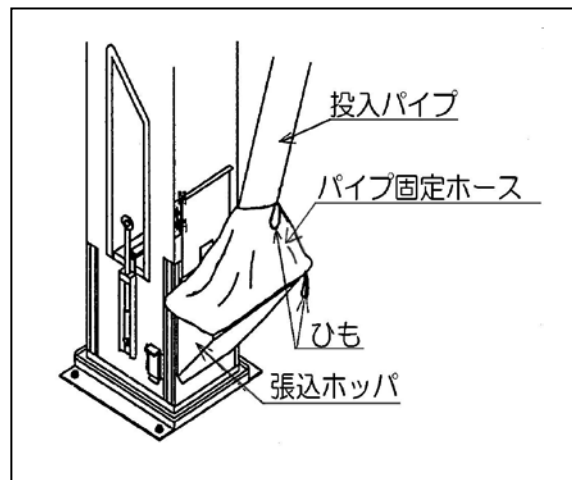
3.4 回転方向の確認

張込ホッパには、張込制御板が付いています。使用状況により張込制御板の位置を調節してください。

張込制御板の合わせかたは、「第4章 運転操作」の項（15 ページ）を参照してください。

3.5 パイプ固定ホース

張込ホッパから穀物がこぼれないように、投入パイプをパイプ固定ホースのひもでしっかりとしばってください。



3.6 バケットベルト

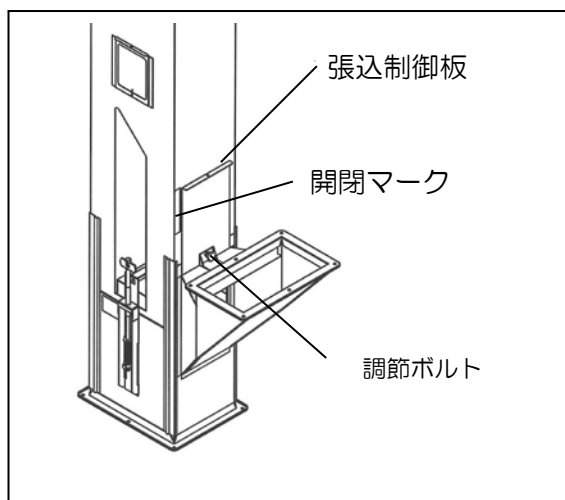
バケットベルトの損傷や亀裂がないか、張り具合は適切かどうか確認してください。また、バケットベルトの片寄りはないか、確認してください。バケットベルトの調節は、「5. 1 昇降機平ベルトの点検・調節」の項（17 ページ）を参照してください。

第 4 章

運 転 操 作

(1) 電源を投入し、穀物を張り込んでください。

(2) 本機の能力は乾燥糶 12t/h です。排出先の能力が少ないときは、詰まりが発生しないように張込制御板で能力を調節してください。



注 記

- 張込制御板の上端と開閉マークの上端を合わせると、ホッパ入口が全閉となります。

(3) 詰まりが発生した場合は次の操作をおこなってください。

① 電源を切ってください。

② 昇降機下箱の穀物を取り除いてください。

「5. 2 残留掃除のしかた」の項（19 ページ）を参照してください。

注意

- 蓋を開けて穀物を取り除くときは、バケットが逆回転しケガをすることがあります。穀物を取り除くときは、バケットが回転しないように固定してください。

③ 運転操作の手順に従って再度運転をおこなってください。

(4) 張込みが終了したら、電源を切り、本機を停止してください。

第 5 章

点検・調整・整備

⚠ 危険

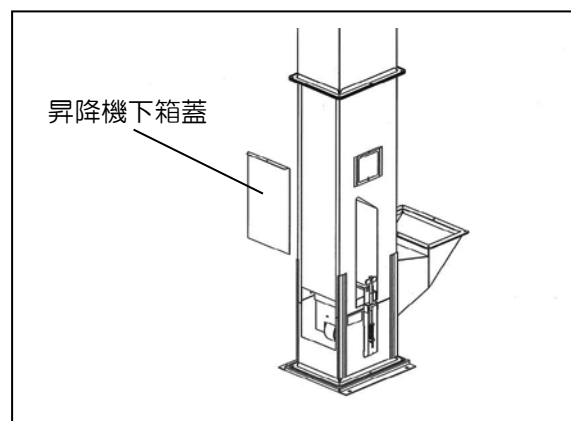
- 本機の点検・調整・整備をおこなうときは、必ず電源スイッチを「切」にし、元電源側のコンセントからプラグを抜いてください。感電による死亡事故につながる恐れがあります。また、誰かが誤ってスイッチを押してしまう恐れがあり、大変危険です。

⚠ 注意

- 本機の点検・調整・整備のときに取りはずしたカバー類は、必ず元の位置に取り付けてください。けがをする恐れがあります。

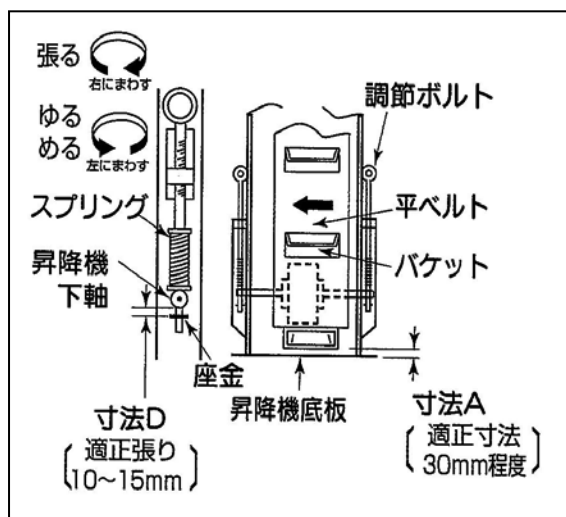
5.1 昇降機平ベルトの点検・調節

- (1) 昇降機平ベルトを点検するときは、昇降機下箱蓋を取りはずしておこなってください。



(2) 昇降機バケット平ベルトが片寄ったときは、左右の調節ボルトを使用して調節してください。

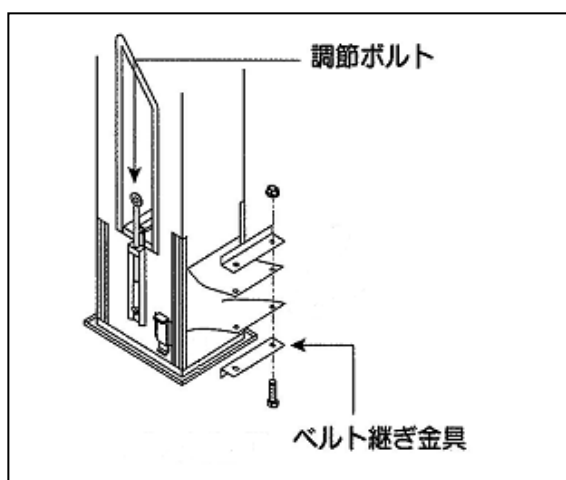
- 平ベルトが片寄っている側の調節ボルトを右に回すと、反対側にベルトが移動します。



(3) ベルトが伸びたときは、切り詰めてください。ただし、あまり切り詰めると調節ボルトがはまらなくなりますので注意してください。

手回しして、バケットが昇降機の中央を走るように左右の調節ボルトで調節してください。

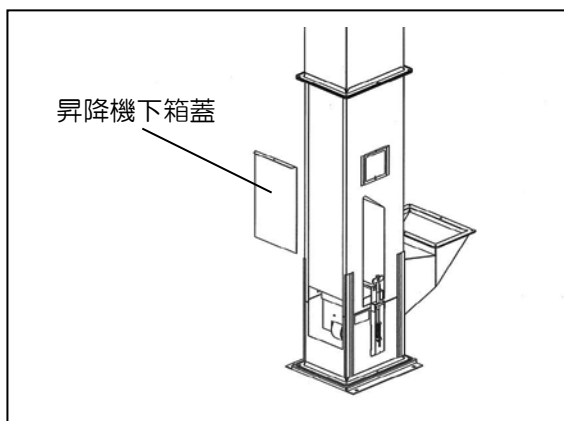
空運転させて平ベルトの位置が片寄ったら左右の調節ボルトでさらに片寄り調節してください。



5.2 残留掃除のしかた

保管や異種穀物搬送の前後に次の要領で掃除してください。

- (1) 搬送終了後、1～2分間程度空運転し、できるだけ本機内の穀物を排出してください。
- (2) 穀物が、ほとんど出なくなったら本機を停止してください。
- (3) 元電源のコンセントからプラグを抜いてください。
- (4) 昇降機下箱蓋を取りはずしてください。



- (5) 昇降機下箱から残留穀物を外に排出してください。

⚠ 注意

- 蓋を開けて穀物を取り除くときは、バケットが逆回転し、ケガをすることがあります。バケットが回転しないように固定してください。

- (6) 昇降機下箱蓋を元の位置に取り付けてください。

第 6 章

組 立 て

6.1 安全

6.1.1 組立作業上の安全に関する重要警告事項

- 本機の組立作業は、「フルハーネス型墜落制止用器具使用従事者特別教育」を受講した方が、教育内容を順守しておこなってください。

⚠ 危険

1. 安全上の基本的危険事項

(1) 本機の組立作業は、高所作業であるので、ヘルメット、袖裾のしまった服、切創防止用手袋、底のすべらない靴、フルハーネス型墜落制止用器具を着用しておこなってください。ヘルメット着用時は、あご紐をしっかり締めてください。高所からの落下による死亡事故につながる恐れがあります。



(2) 組立作業は、高所作業であると同時にグループ作業であるので、部品の手渡しはお互いに合図を確認しながらおこなってください。部品が重量物であり、死亡事故につながる恐れがあります。

(3) 本機の組立てを始める前に、古い昇降機等の解体撤去をおこなうときも高所作業になります。さらに腐食やサビ、ねじのゆるみ等で原形をとどめていないことが予想されます。

足場の確保や、上記(1)、(2)の注意事項を厳守して作業をおこなってください。

高所からの落下による死亡事故につながる恐れがあります。

危険

2. 据付け時の危険事項

- (1) 据付場所は、運転操作・点検・調節・整備ができる明るい場所にしてください。暗い場所で運転操作・点検・調節・整備をすると、重大な事故を起こす恐れがあります。
- (2) 据付場所は、下記の条件を満たす場所にしてください。軟弱な地面や水平でない場所に設置すると、運転中に傾いてしまう恐れがあります。
 - コンクリートなどで作られた水平な場所であること。
 - 本機の全重量（取扱説明書の仕様の項に明記）に長期間、十分耐えられる場所であること。

警告

- (1) 開梱した廃材などは、お客さまと相談の上、安全な場所に片付けてください。開梱した木枠材には釘が出ているので、そのまま置いておくと、重傷を負う恐れがあります。また、ビニール袋などは、子供がかぶって遊ぶと死亡事故につながる恐れがあります。
- (2) はしごや脚立を使用するときは、すべったり開いたりしないように固定するか、あるいは他の人にしっかり支えてもらってください。転落して重傷を負う恐れがあります。
- (3) 電気配線には、濡れた手で触れないでください。感電により、人身事故を起こす恐れがあります。

6.1.2 試運転時の取扱い上の安全に関する重要警告事項

危険

1. 安全上の基本的危険事項

- (1) 本機を試運転するときは、「取扱説明書」の指示に従ってください。誤った取扱いをすると、死亡事故につながる恐れがあります。
- (2) 子供を本機のそばで遊ばせないでください。子供は、本機のスイッチ類をいじる可能性があり、重大な人身事故を起こす恐れがあります。
- (3) 二人以上で作業をするときは、安全のために声を掛け合っておこなってください。一人の人が誤ってスイッチを押してしまうと、人身事故を起こす可能性があります。

2. 点検・調節・整備に関する危険事項

- (1) 本機の点検・調節・整備をおこなうときは、必ず電源スイッチを「切」にし元電源側のコンセントからプラグを抜いてください。感電による死亡事故につながる恐れがあります。また、誰かが誤ってスイッチを押してしまう恐れがあり、大変危険です。

6.1.3 火災予防に関する重要警告事項

警告

1. 電源に関する火災予防事項

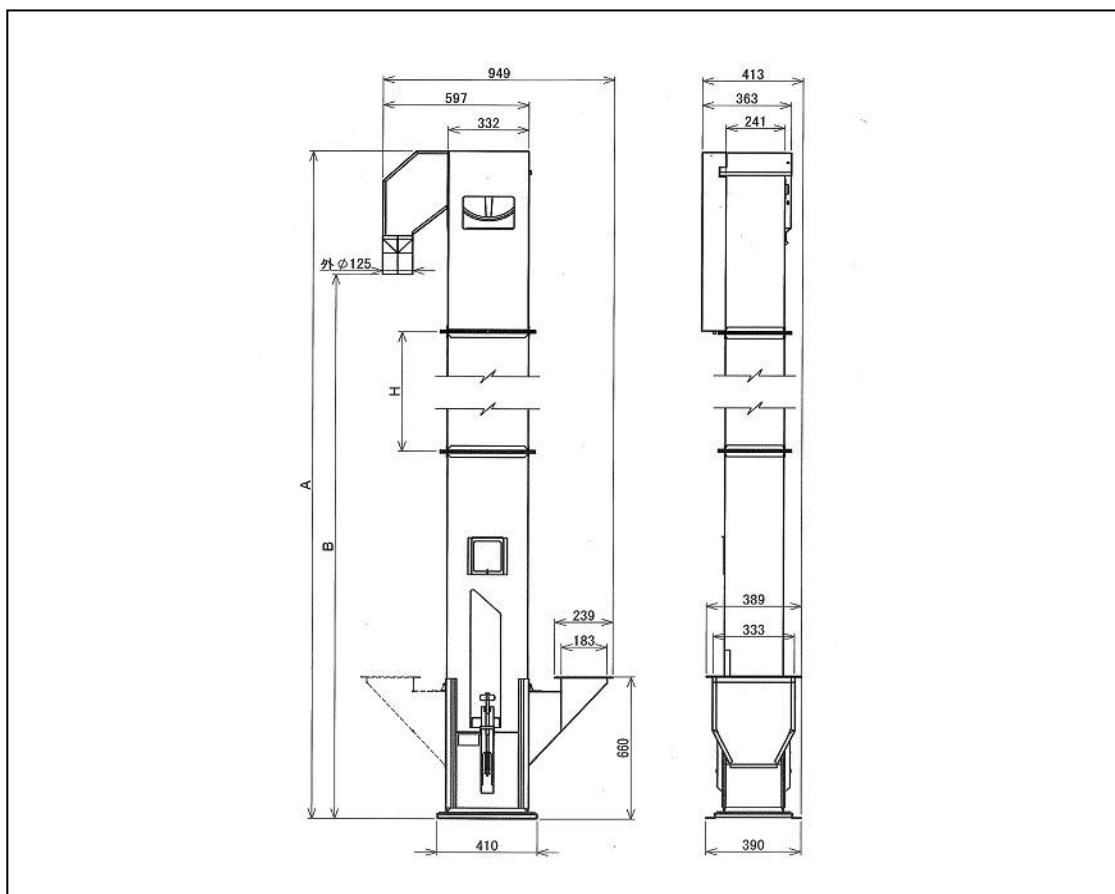
- (1) コード類は電気用品安全法の適合マーク(PSE)製品を使用してください。
- (2) 配線は電気工事会社の相談の上、内線規定に従って実施してください。
- (3) 元電源は漏電ブレーカの付いた専用電源からとってください。
- (4) 損傷したコード類は、使用しないでください。

6.2 組立て前の準備

6.2.1 据付場所の選定

- 据付場所は、下記条件を満足する場所を選定してください。
- 本機の据付場所は、運転操作や張込みの位置（張込ホッパはバケットベルトの上り側、下り側のどちらにも取付可能）、穀物の排出場所について、お客様のご意向をよく聞いて選定してください。据付け後の変更は容易でないことがあります。

(1) スペース



型 式	BE80-524D	BE80-578D	BE80-643D	BE80-697D	BE80-762D
A寸法	5240	5780	6430	6970	7620
B寸法	4670	5210	5860	6400	7050
H寸法	2740 L1189×1本 L1515×1本	3241 L537×1本 L1189×1本 L1515×1本	3893 L1189×2本 L1515×1本	4430 L537×1本 L1189×2本 L1515×1本	5082 L1189×3本 L1515×1本

本機の占めるスペースは、上図のとおりです。

(2) 設置面

- ① コンクリートなどで作られた水平な場所であること。
- ② 本機の全重量に長期間耐えられること。

(3) 作業面

- ① 本機の操作面は、明るく、出入りが自由であること。
- ② 本機の周囲は、点検・調節などをおこなうことができること。
- ③ 投入パイプからの穀物がバケットにまっすぐ入る側に張込ホッパを設置すること。

(4) 安全面

- ① 本機の電源プラグを差し込める配電盤(漏電ブレーカ付)が付近にあること。

6.2.2 組立作業で使用する工具の確認

- 組立作業で使用する工具をそろえてください。

番号	工具名称	仕様	使用目的
①	平スパナ	10mm	組立て用
②	平スパナ	12mm	組立て用
③	ボックススパナ	10mm	組立て用
④	ボックススパナ	12mm	組立て用
⑤	プラスドライバー		組立て用
⑥	ニッパ		組立て用
⑦	ペンチ		組立て用
⑧	電気テープ		結線被覆用
⑨	六角棒スパナ	対辺 3mm	モータ-リ組換え用 (60Hz 地域のみ)
⑩	カッタナイフ		バケット平ベルト切断用

- その他に準備していただく物

番号	部品名称	規格	使用目的
①	アンカーボルト	M12×70	本機据付け用

6.2.3 梱包部品の確認

(1) 梱包数を確認してください。

● 型式別梱包組合せ

梱 包	BE80-524D	BE80-578D	BE80-643D	BE80-697D	BE80-762D
1 梱包	1	1	1	1	1
2 梱包	1	1	1	1	1
3 梱包	0	0	1	1	2
4 梱包	0	1	0	1	0
合計梱包数	2	3	3	4	4

(2) 各梱包の型式に誤りがないことを確認してください。

(3) 梱包内の部品に員数不足がないことを確認してください。

(4) 梱包内の部品に不良品がないことを確認してください。

(5) 上記(1)～(4)の中で異常がある場合には、製造元へ製造番号と部品名称と必要個数を連絡してください。

● 梱包部品明細表

分類	部 品 名	個数	分類	部 品 名	個数
1 梱 包	昇降機下箱仕組	1	付 属 品 セ ツ ト	パイプ固定ホース	1
	昇降機上箱仕組	1		昇降機カバー金具	1
	張込ホッパ	1		取扱説明書	1
	張込制御板	1		組立ビス袋	1
	昇降機出口	1			
	昇降機カバー	1			
	固定バンド	2			
	付属品セット	1			
2 梱 包	昇降機中箱 L1515	1	3 梱 包	昇降機中箱 L1189	1
	昇降機中箱 L1189	1			
	平ベルト仕組	1			
	昇降機ベース	1			
			4 梱 包	昇降機中箱 L537	1

● 組立ビス袋明細表

使用箇所	品名	規格	ボルト	ナット
昇降機出口	ナット LCSW	M6		4
昇降機カバー	ナット CSW	M8		1
固定バンド	ボルト SPW	M8×16	2	
	ナット CSW	M8		2
昇降機箱関係 注1	(+)ボルト SPW	M6×16	30	
	ナット LCSW	M6		30
予備	(+)ボルト SPW	M6×16	1	
	ナット LCSW	M6		1

注1：各型式の使用個数と予備個数

	BE80-524D	BE80-578D	BE80-643D	BE80-697D	BE80-762D
(+)ボルト SPW	18	24	24	30	30
ナット LCSW	18	24	24	30	30
予備 (+)ボルト SPW	12	6	6	0	0
予備 ナット LCSW	12	6	6	0	0

6.3 組立て

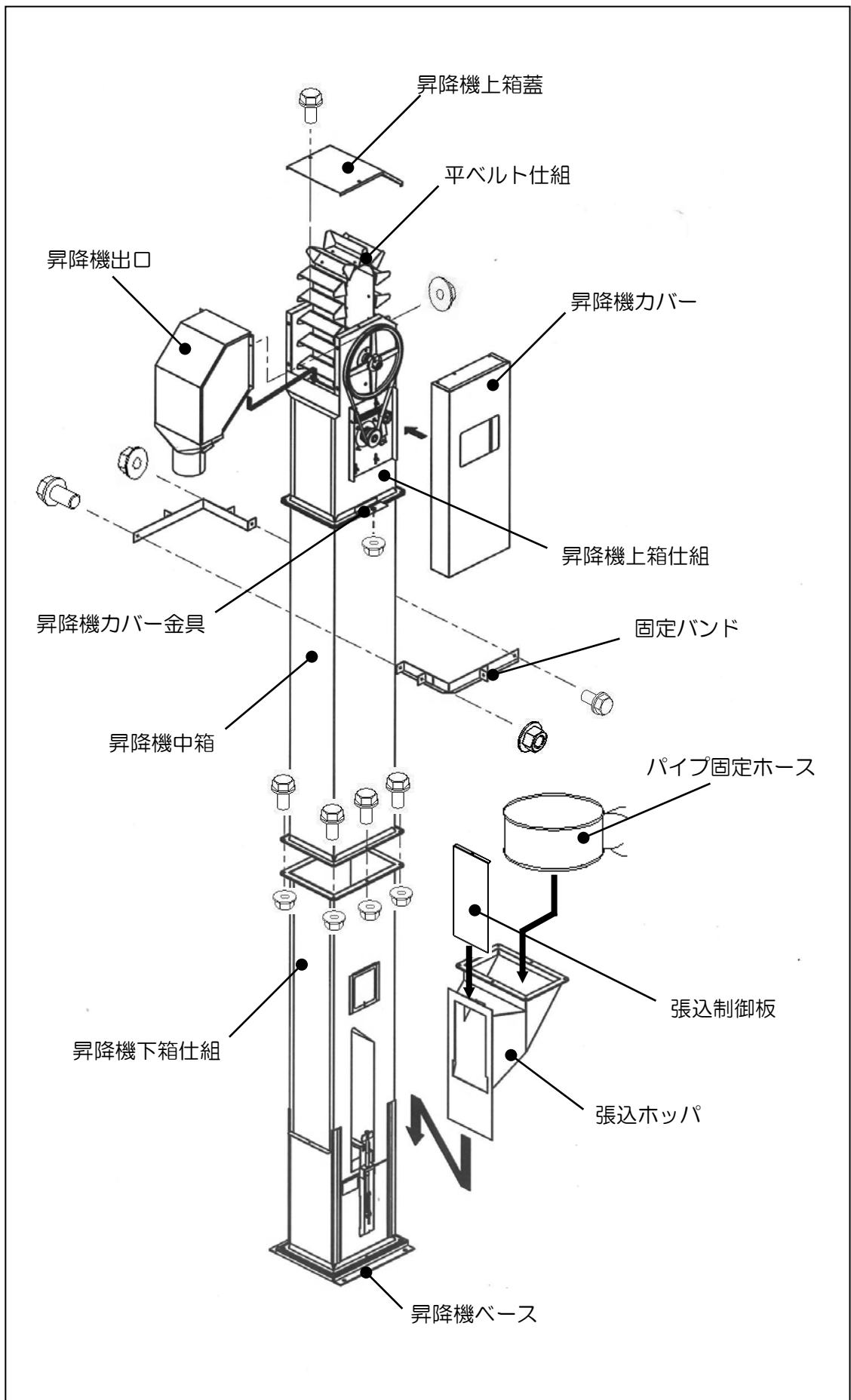
6.3.1 本体の組立て

危険

- 組立作業は、高所作業であると同時にグループ作業であるので、部品の手渡しはお互いに合図を確認しながらおこなってください。部品が重量物であり、死亡事故につながる恐れがあります。

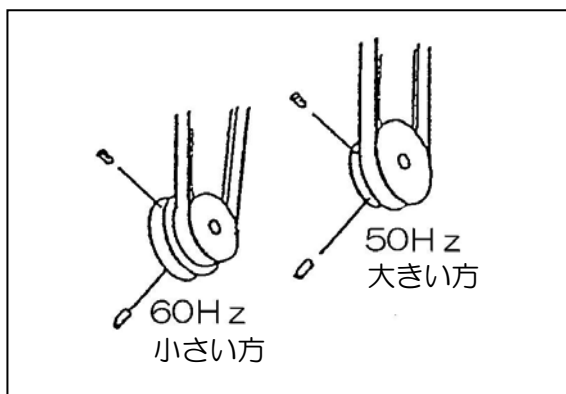
注意

- 開梱した部品を持ち運ぶときは、切創防止用手袋を着用して持ち込んでください。素手で持ち運ぶと、鉄板の切り口などで手を傷つけることがあります。

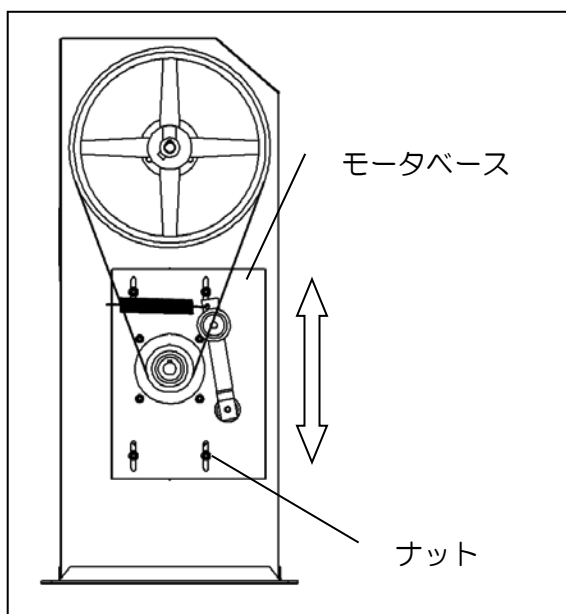


① 各梱包を開梱し、部品を用意してください。

② 60Hz地区ではモータプーリの組換えとVベルトの張りの調節をおこなってください。Vベルトの張り調節は、モータベース取付用ナット(4ヶ)をゆるめてモータベースを移動して調節してください。



ベルトの張り具合は、ベルトの真ん中を指で軽く押して、10~15mmへこむ程度が適切です。

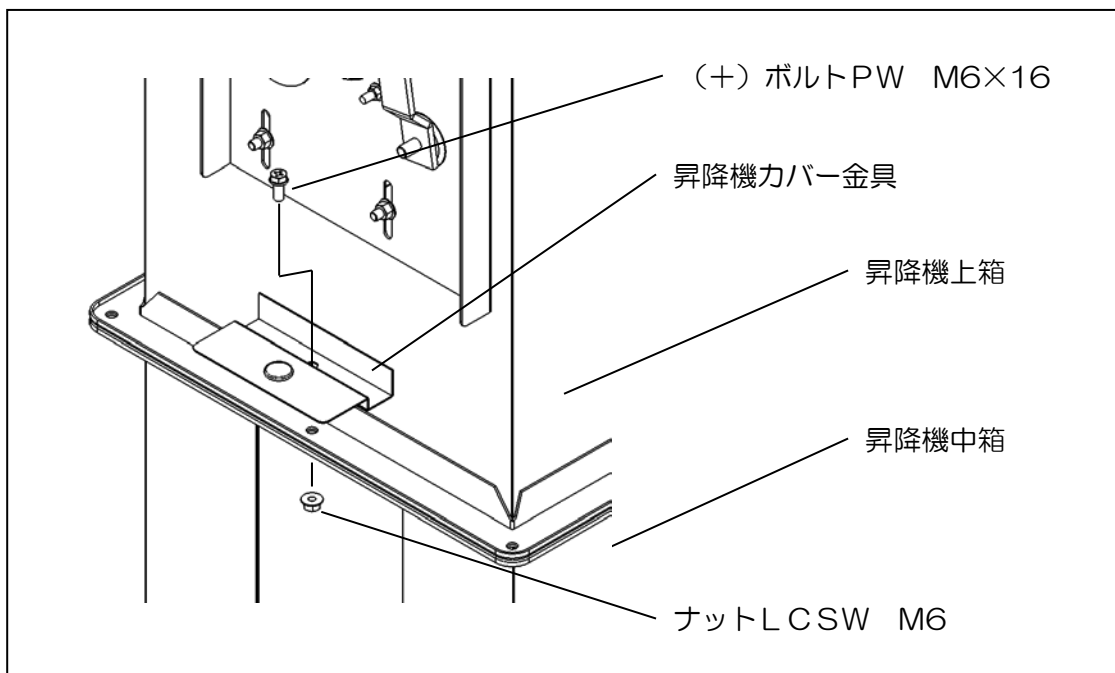


注 記

- 工場出荷時は、50Hz用のモータプーリ径にセットしてあります。

- ③ 昇降機下箱と昇降機中箱と昇降機上箱を（+）ボルトPW（M6×16）とナットLCSW（M6）でつないでください。

このとき、昇降機上箱ブーリ側に昇降機カバー金具を共締めしてください。



注 記

- 昇降機中箱は長い方を下側に取り付けてください。

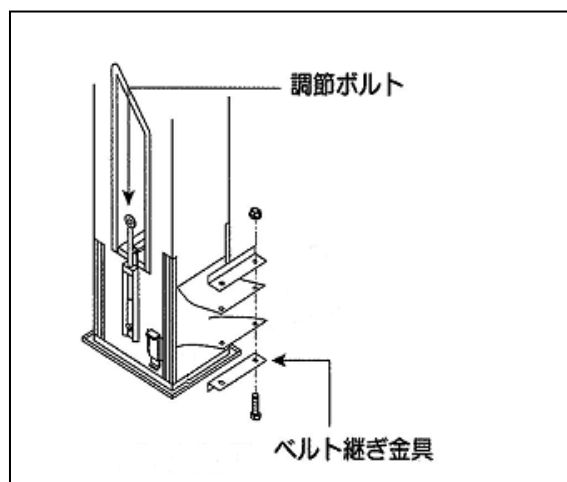
- ④ 昇降機上箱に昇降機出口をナットLCSW（M6－4ケ）で取り付けてください。

- ⑤ 固定バンドをボルトPW（M8×16－2ケ）とナットCSW（M8－2ケ）で取り付けてください。

注 記

- 本機の固定方法をよく検討した後、なるべく上側の昇降機継ぎ目の近くで固定してください。

- ⑥ 昇降机上箱蓋をはずし、平ベルトを入れてください。
 ベルト継ぎ金具と (+) ボルトPW (M6×25-2ケ) とナットLCSW (M6-2ケ) でバケットを継いでください。その後、調節ボルトでバケットベルトを仮張りしてください。



注 記

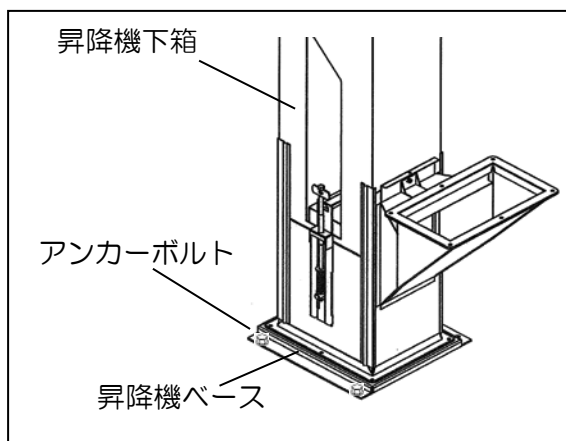
- 工場出荷時、平ベルトの長さは、BE80-762D型に合わせています。別型式の場合、平ベルトを切ってください。

型 式	切 断 長 さ	不要バケットの数
BE80-524D	4.4m	42 個
BE80-578D	3.3m	31 個
BE80-643D	2.0m	18 個
BE80-697D	1.0m	8 個

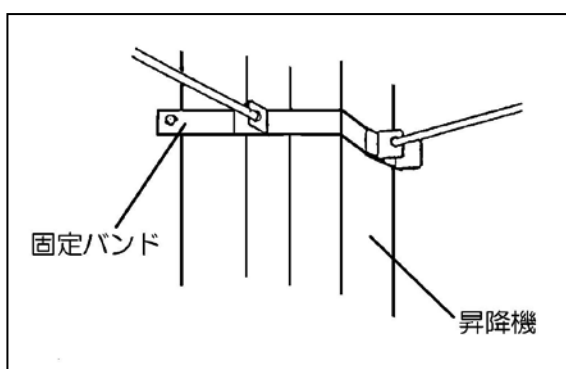
- ⑦ 昇降机上箱蓋、昇降機カバーを取り付けてください。
- ⑧ 張込ホッパを昇降機下箱のレールに差し込んで取り付けてください。
 張込ホッパはバケットの上り側・下り側どちら側にも設置することが可能です。
 投入パイプからの穀物がバケットにまっすぐ入る側を選択し、張込ホッパを設置してください。
- ⑨ 張込ホッパを設置した反対側に、昇降機下箱蓋を差し込んでください。
- ⑩ 電気配線をしてください。
 「3.2 電源の確認」の項（12 ページ）を参照してください。
- ⑪ 試運転をしてください。
 「第3章 運転前の準備」の項（11 ページ）を参照してください。

6.3.2 本体の据付・固定

- ① アンカーボルト（M12×70 以上ー4ヶ）を別にご用意ください。標準付属品ではありません。
アンカーボルトを昇降機ベースの穴にしっかりと打ち込んでください。



- ② 固定バンドの穴を利用し、ロープや丸棒で本機が振れないようにしっかりと固定してください。



⚠ 危険

- 本機をしっかりと固定してください。
不安定な場合は、他の機材を準備して本機が振れたりしないように固定してください。

お客さま相談窓口

製造元	株式会社	山本製作所
農機事業部	☎	(0237) 43-8811
北海道営業所	☎	(0126) 22-1958
東北営業所	☎	(0237) 43-8828
関東営業所	☎	(0285) 25-2011
新潟営業所	☎	(025) 383-1018
東海営業所	☎	(0566) 75-8001
大阪営業所	☎	(06) 4863-7611
岡山営業所	☎	(086) 242-6690
四国営業所	☎	(087) 879-4555
九州営業所	☎	(096) 349-7040

補修用部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後12年といたします。

ただし、供給年限内であっても、特殊部品につきましては、納期等についてご相談させていただく場合もあります。

補修用部品の供給は、原則的には、上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

解体・廃棄について

解体は、組立作業の逆の手順でおこなってください。
廃棄する部品は、分別して処分してください。

製造元 **株式会社 山本製作所**

本社 山形県天童市
東根事業所 〒999-3701 山形県東根市大字東根甲 5800-1
TEL (0237) 43-3411 (代)